文部科学省認可通信教育
放送大学 佐賀学習センター
no.116 / 2026.10

Balloon バルーン



本号の内容

学位記授与式／入学者の集い - 1
卒業生からのメッセージ - 2
卒業生代表謝辞／卒業生一覧 - 3
客員教員コラム - 4
面接授業の実施状況紹介 - 5
2学期面接授業一覧 ／ライブWeb授業紹介- 6
公開講座の開催報告／公開講演会のご案内／
特別表彰および修学勉励表彰について - 7
10月～3月スケジュール - 8

ご卒業おめでとうございます

佐賀学習センター所長
山下　宗利



「学位記授与式」に参加された卒業生の皆さん

ご卒業、おめでとうございます。

16名の卒業生の皆さん、本日はこの大切な日を迎えられたことを、心からお祝い申し上げます。放送大学入学の目的もさまざまで、またここまでの道のりにはいろいろなご苦労があったことと思います。それでもあきらめずに学び続け、卒業を迎えられた皆さんの努力に、深く敬意を表します。よくがんばりました。

しかし卒業は人生の一つの通過点であり、新しい第一歩です。今後も学びを続け、これまで身につけた知識や経験は、皆さんの今後の人生にとってすばらしい道標（一里塚）になることでしょう。また新たな目標に向かって積極的に挑戦してみてください。

皆さんの未来が、学びによってさらに豊かに広がっていくことを、心から願っています。

ご入学おめでとうございます

ご入学、おめでとうございます。

放送大学に入学・再入学された100名の皆さんを、心から歓迎いたします。

放送大学は皆さんにとても大切な学びの機会をご提供いたします。そしてここ佐賀学習センターはその学びを手助けいたします。放送大学の幅広い分野の講座を通して、知的な興味を深く掘り下げ、自分らしい目標に近づいていただければと願っています。

入学された皆さんの年齢や歩んでこられた経験はそれぞれ異なりますが、「学びたい」「成長したい」という思いは共通しています。その思いを大切に、新しい発見や仲間との出会いを楽しみながら学んでいってください。佐賀学習センターの教職員一同、皆さんの学びをしっかりと支え応援して参ります。



「入学者の集い」に参加された新入生の皆さん

卒業生の皆様からのMESSAGE

「いくつになっても目標を」　　心理と教育コース　Y.A さん

生活と福祉コースを卒業し、看護学の学士をとりました。学位をとることが目標だったので、とれたはうれしいけれど、その後何をしようかと･･･。手持ちぶさたというのでしょうか、何かしなければ!と、とりあえず心理学を学ぼうと心理と教育コースに再入学しました。そこから認定心理士を目指そうと目標をかかげ学びはじめました。目標を決めたのが遅かったのか、認定心理士に必要な単位取得の前に卒業が決まってしまいました。でも、認定心理士まであと少しなので、選科履修生としてまたまた継続したところです。

いつまでもいくつになっても目標を持ちつづけることが大切ですね。

「学問として」　　生活と福祉コース　Y.M さん

接骨院･整骨院で業務を柔道整復師として20年過ごしてきました。伝統医療として修業10年、師の技術を学び、骨折、脱臼、打撲、捻挫、挫傷の臨床で身につけてきた。特に師の固定技術は私にとって社会で働くための大切なものとなっていた。そして開業し5年すぎた頃から柔道整復師に対する社会のバイアスが高い環境に問いが生まれました。そこで女性柔道整復師として社会に参画していくもの、災害医療、地域防災のプログラム作成のため放送大学で学び、学士機構へレポート提出予定。次は効果と評価...学びは続きますがとても楽しいです。次は災害医療学に挑戦します!ありがとうございます!

「一歩一歩、夢に向かって」　　生活と福祉コース　井本　弘江 さん

私は、看護学の学士取得を目指し、放送大学に3年次編入しました。仕事と勉強の両立は大変でしたが、面接授業では年齢も職業も異なる方々と出会い、有意義なディスカッションを通して楽しく学ぶことができました。この度9月に無事卒業することができました。放送大学は科目数が豊富で、興味のある科目をつい履修しすぎてしまい、学士取得に必要な単位が少し足りないというハプニングもありましたが、10月から科目履修生として再チャレンジします。

次のステップとして、看護学の学士取得と診療看護師を目指して大学院進学を目標にしています。

在学生の皆様も忙しい中大変だと思いますが、どうかご自身のペースを大切に、着実に夢に向かって進んでいって下さい。

「『知る』楽しさ」　　自然と環境コース　古川　容子 さん

世の中には、私達が知らないことが何と多いのでしょう。それを『知る』手助けをしてくれるのが『放送大学』です。

私は、高校卒業後すぐに就職したので、いつか大学で学びたいと思っていました。縁あって放送大学に入学し、今回、3度目の卒業です。

「自然と環境コース」では、宇宙のこと、生物のこと等、楽しく学ぶことができました。また、日頃は、個人での学習ですが、面接授業、ゼミ、研修旅行等で、他の学生の方と交流できたのが、何よりの思い出です。

まだ、知的欲求が尽きず、次学期も、継続入学します。

学習センターの皆さん、これからもよろしくお願いします。

この度の卒業で名誉学生が1名誕生しました

放送大学では、教養学部の全コース（又は専攻）を卒業した方で、人物、学習態度が良好である学生に対して、「放送大学名誉学生」の称号を付与しています。この度、1名の方が全6コースを修了され、名誉学生の称号を授与されました。心よりお祝い申し上げます。

卒業生の皆様

2026年度第1学期
佐賀学習センターからは
教養学部16名の卒業生が
誕生しました。
教職員一同、心よりお祝い
申し上げます。

教養学部

【生活と福祉】…6名
【心理と教育】…5名
【社会と産業】…3名
【自然と環境】…2名

謝　辞

本日は、私たち卒業生の為にこのような式を開催していただき感謝申し上げます。私たちが卒業の日を迎えることができましたのも、学習センター所長をはじめ職員の皆様のご支援の賜物と深く感謝しております。

私にとって大学での「学び」は見える世界が広がるものでした。２７年前「学び」に対し特段の興味を持つこともなく高校を卒業し就職しました。職場では、その時々で求められることに対し対応してきましたが勤続年数が長くなるにつれ立場も変化し課題にぶつかることが増えてきました。解決策を見つけるため書籍やインターネットを検索しましたが明確な答えを得ることはできませんでした。そんな時、上司が放送大学を卒業したと知りました。大学の話を聞くにつれて、探している答えが見つかるのではないかと思うようになり私も入学することを決めました。入学後は学習を継続する意欲を保ちつつ仕事との両立を図る事の大変さから何度か学習の断念を考えましたが１０年かけ、ようやく卒業できることとなりました。

今思うことは、知識が増えたことで見える世界が広くなったと感じることです。私の前に小さな窓があり見える範囲が限られていましたが、「学ぶ」ことで大きな窓となり、知識という風が入ってくることでさらに広い世界が見えるようになるイメージです。入学する起点となった問の答えはまだ見つかっていません。しかし「学ぶ」ことの真の面白さや意義を知ることができました。この度、卒業しますが引き続き「学ぶ」ことを追究していきたいと思っています。

最後に今日まで私たちをご指導、ご支援いただきました学習センター所長、教職員の皆さまへ感謝を申し上げますとともに、放送大学学習センターのさらなるご発展とご臨席の皆様のご健勝とご活躍を祈念して謝辞とさせていただきます。

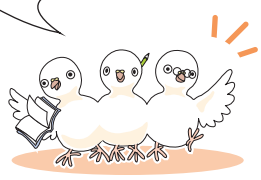


２０２６年　９月２６日
卒業生代表　半下石　綾美

放送大学オリジナル《アカデミックガウン》が整備されました！
学びの集大成となる卒業・修了の晴れの日の記念撮影に
ぜひご活用ください。







Essay

進歩と進化



船久保　公一
客員教授　専門：物理学

ここ３、４年で急速に AI(大規模言語モデル、LLM) が普及した感があります。その基盤となる技術は機械学習と言われるもので、1980 年代にある物理学の問題を解くために考えられた手法が元になっており、その成果は 2024 年のノーベル物理学賞を受賞しました。例年、ノーベル物理学賞はこのエッセイが発行される 10 月上旬の火曜（日本時間夕方）に発表され、2024 年の授賞対象を知った時に少し違和感がありました。理論の提唱や新事実の発見ではなく、新たな手法が全く異なる領域で人類に大きな影響を与えたものだったからです。

1990 年頃に専門家によるニューラルネットワーク (NN) の話を聞いた時は神経回路網を模した計算ツールという印象だけで長いこと忘れていたのですが、今から十年ほど前に卒業生から機械学習が産業現場で大きな成果を上げている話を聞きました。パソコンを Windows 95 が出た頃から使っている人はご存知のように、かつて液晶にはドット欠けという不良がつきものでした。後に生産現場へ機械学習が導入され、画像検査やプロセス制御の自動化によって歩留まりが飛躍的に向上したことで、この問題は解消されていきます。しかし、熟練者の技術に頼り機械学習導入で後手に回った国内メーカーは、早期からデータと機械学習を活用した韓国や台湾勢に後塵を拝することになります。

機械学習とは、ある入力（例えば手書きの数字）に対して正解（その文字が示す数字）を返す仕組みを NN（画像の各画素値を入力変数とし、多数の内部パラメータを持つ関数）で作ることです。正解が出せるように NN のパラメータを最適化することを「学習」と呼んでいます。多変数ゆえ多量の計算は必要ですが、それぞれが単純なもので並列処理に適しており、画像処理用の GPU が使われています。この GPU を始めとするハードウェア、NN とその計算を支えるソフトウェアの「進歩」(progress) があってこそ、機械学習が産業の現場で成果を上げました。

特定の目的に最適化を限定せずに、様々な問いかけに正解に近い回答を出すのが LLM です。初期の頃は不正解も多かったのですが、ここ１、２年でかなり実用的になりました。それまでに多くの人々が進歩させてきた仕組みが結実して一気に「進化」(evolution) した感じです。

このような技術の進化を経て一気に普及するもので歴史的に新しいものとしてはインターネットがあります。情報の取得・検索や公開と今ではそれ無しの日常は考えられません。ネットが発達して廃れたものがあるように、LLM の進化はネットよりハイペースでより広範囲に人々の生活に影響するでしょう。今後、それをどう使いこなすのか、何を取捨選択するのか、より賢い選択が必要とされる時代になったと思います。

1学期の面接授業の実施状況を紹介します

ぶらっと有田・陶磁の歴史と文化　鈴田 由紀夫先生（佐賀県立九州陶磁文化館館長）



約400年前に日本最初の磁器として創始された有田焼は、国内のみならず海外にも広く流通しました。その有田焼の魅力を理解し、その歴史をたどるとともに、多くの古陶磁を鑑賞しました。また、有田町内の泉山磁石場をはじめ、町内の窯跡や街並みを散策し、リアルな歴史も体感できました。

受講者の声

●フィールドワークでは、実際の質感、スケール感を体感することができ理解を深めることができた。
●とても楽しい講義で、有田の魅力を充分に感じた。

映像デザイン－映画からＶＲまで－　中村 隆敏先生（佐賀大学芸術地域デザイン学部教授）

CMやPV、映画等における映像表現を巧みに用いた作品を鑑賞し、優れた構成や演出から映像デザインとしてメッセージの伝達や個性的な着想や表現が生まれることを学びました。また、CGやVR、デジタルファブリケーション等、デジタル表現がもたらすサイバー空間とフィジカル空間を結ぶ概念を大学のスタジオ見学やVR体験等により体感しました。そして映像デザインの現在までとこれからについて考えていく授業でした。



受講者の声

●スタジオ見学やVRの体験がとても楽しかった。
●ミュージックビデオが面白かった。



2026年度第2学期面接授業 佐賀学習センター開設予定科目

科目区分	科目名	担当講師	授業日	定員	備考
専門/自然と環境	宇宙の物質の起源	船久保　公一	10/17～10/18	40	
専門/人間と文化	軍事都市「肥前名護屋」を探る	宮武　正登	10/24～10/25	24	課外
導入/人間と文化	佐賀から見直す幕末維新	藤井　祐介	10/31～11/1	40	
専門/人間と文化	美術史で辿る差別・被差別	吉住　磨子	11/7～11/8	40	
専門/生活と福祉	明日、誰かに伝えたくなる薬の話	寺本　憲功	11/14～11/15	24	
専門/心理と教育	心理検査法基礎実習	中島　俊思	11/14、11/28	30	パソコン持ち込み
導入/社会と産業	金融リテラシーを身につける	張　韓模	11/21、11/28	24	一部の回パソコン持ち込み
導入/生活と福祉	健康・スポーツ科学概論	井上　伸一	12/5～12/6	24	
専門/心理と教育	心理学実験1	田中　沙来人	12/5～12/6	20	パソコン持ち込み
導入/情報	コンピュータの秘密を解き明かす	和久屋　寛	12/12～12/13	40	パソコン持ち込み 教科書購入
専門/人間と文化	妖精とアイルランド・ケルト文化	木原　誠	12/19～12/20	48	
専門/社会と産業	企業家の起業や経営再建	山本　長次	1/9～1/10	40	
専門/自然と環境	微生物による発酵とは？	小林　元太	1/9～1/10	24	1/10課外
導入/人間と文化	地域の素顔を読み解こう	山下　宗利	11/10、11/17、11/24、12/1	30	ライブWeb授業

ライブWeb授業を初開講します！

地域の素顔を読み解こう

山下 宗利（放送大学佐賀学習センター所長）

教材として地形図や白地図、色分けした地図を中心に、多様な「地図」を利用し、地図から読み取れることを基にさまざまな視点からその地域の特徴を解き明かしていきます。人々の生活と自然環境の関係、地域の歴史的な変化の様子、また近年激甚化する災害への備えなど、読図を通して地域の歴史や現状と課題等を読み解き、将来の地域のあり方を考える力を養いましょう!

ライブWeb授業とは?
ライブWeb授業はWeb会議システム（Zoom）とオンライン授業の利点を活かした同時双方向型の遠隔授業で自宅のパソコン等で履修します。
講義資料の配布、出席登録、講義用Zoomへの入室、課題提出等はすべて専用のシステム（LMS）上で行います。
決められた日時に講義用Zoomに入室して授業を受講し、科目ごとに定められた期間内に課題（レポート等）を提出します。
通学の必要がなく、スケジュール管理もしやすいため、忙しい方にもピッタリの授業です。

公開講座・公開講演会について

公開講座の開催報告

キャッシュレス時代を楽しむマネー講座



7月11日(土)、アバンセ研修室にて、佐賀大学名誉教授の張韓模先生による公開講座が開催され、30名の方々が聴講されました。

講座は、11月21、28日(土)開講の面接授業「金融リテラシーを身につける」のダイジェスト版として実施されました。キャッシュレス決済の仕組みや利便性に加え、お金の流れや社会における役割や家計に役立つキャッシュレス活用術、キャッシュレス決済を安全に使うための鉄則など実用的な面についても紹介されました。キャッシュレス化への期待や不安を抱く参加者も多く、決済方法の違いや利用時の注意点について理解を深める機会となりました。また、本講義への関心も高まり、今後の学びへの意欲が感じられる講座となりました。

運動スポーツのある生活で楽しい毎日を～スポーツ健康科学と簡単なエクササイズの紹介～



7月25日(土)、アバンセ研修室にて、佐賀大学教育学部教授の井上伸一先生による公開講座が開催され、21名の方々が聴講されました。

講座では、活力ある生活を送るために、なぜ運動が必要か、どのようエクササイズが効果的かについて、健康科学の視点から紹介されました。簡単な実技も取り入れ、参加者は体を動かしながら日常に運動を取り入れるヒントを学びました。さらに、スポーツ界で技術向上のために導入が進むスポーツ科学の最前線も紹介がありました。参加者の皆さんは、楽しみながら受講され、運動やスポーツをより身近に感じ、日々の生活に取り入れていく意欲を高める講座となりました。

公開講演会のお知らせ

『身体の老い』と『こころの老い』



認知症に優しいまちづくり活動や認知症介護者の成長感など高齢者の健康問題に関する研究に取り組まれている放送大学教授の井出 訓先生に、「身体や頭の老い」と「心の老い」の違いを理解し、前向きに生きる姿勢についてお話しいただきます。

参加無料

講師 放送大学 教授　井出 訓
日時 12月19日(土)13:30～15:15
会場 アバンセホール

特別表彰および修学勉励表彰について

佐賀学習センターでは、学生の学業等への意欲を高めることを目的に、学習成果を評価し学生表彰を実施することとしています。つきましては、佐賀学習センター所属の全科履修生で本年度中(令和8年度第1学期及び第2学期)に下記の表彰の基準を全て満たすこととなり表彰を希望する方は、「表彰申請書」を令和9年3月9日(火)までに佐賀学習センターへ提出してください。

表彰基準

①卒業に必要な124単位のうち2分の1以上の単位数の修得を達成
(ただし、編入学等により入学した全科履修生は除く。)
②6専攻及び6コース(情報コースを含む。)のうち3専攻・コースの卒業を達成

申込等について

・佐賀学習センター窓口または電話等でお申し出ください。
所定の申請用紙をお渡し(またはお送り)します。
・申請の際は、WAKABA等でご自分の修得単位数、卒業したコース(専攻)をご確認ください。
ご不明な場合は、学習センターにお問い合わせください。

１０月～３月のスケジュール

※ ■…閉所日　記載内容は予定であり、変更になる場合があります。

10月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1日　放送授業開始
3日　2027年度大学院修士･博士全科生第1次選考
5日　集中科目履修生(司書)･試験課題提出期限
15日　学生研修旅行
16日　面接授業空席発表(15:00～)
面接授業追加登録事前申請開始(15:00～)
22日　面接授業空席科目先着申込受付開始

11月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5日　通信指導提出期間(web ～11/25 17時)
7日　2027年度大学院博士全科生第2次選考
11日　通信指導提出期間(郵送提出科目 ～11/25本部必着)
22日　2027年度大学院修士全科生第2次選考
26日-　2027年度第1学期出願期間(第1回)

12月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

19日　公開講演会
「身体の老い」と「こころの老い」
放送大学教授　井出　訓
27日～　年末年始の閉所日

●「機関誌」バルーンは2026年度より、年間2回の4月と10月の発行に変更しました。
●面接授業開催日は6ページに記載しています。

1月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

17-21日　Web単位認定試験自宅受験期間(記述･併用式科目)
17-25日　Web単位認定試験自宅受験期間(択一式科目)
20-23日　Web単位認定試験佐賀学習センター受験

2月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

13-27日　2027年度第1学期科目登録期間(郵送)
13-28日　2027年度第1学期科目登録期間(Web)
-28日　2027年度第1学期出願期間(第1回)

3月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1-15日　2027年度第1学期出願期間(第2回)
27日　2026年度第2学期学位記授与式
27日　2027年度第1学期入学者の集い

放送大学 佐賀学習センター
https://www.sc.ouj.ac.jp/center/saga/
〒840-0815 佐賀市天神三丁目2-11
TEL　(0952)22-3308
FAX　(0952)22-3398